

町を挙げての「追放運動」で家屋内ゴキブリ⁰を実現!

殺虫剤で再侵入経路 排水管の隙間、新聞受け…

池田町住民が実践!

ゴキブリを 家に入れない「鉄壁メソッド」



にまた小さいゴキブリが潜んでいたり、卵が産み付けられたりしている場合も。

飲食店の床にカバンや荷物をそのまま置くクセがある人は要注意。

たたでさえ飲食店はゴキブリが好む場所でもありますから、カバンにゴキブリが入り込んだまま持ち帰ってしまう可能性もあります

にまた小さなゴキブリが潜んでいたり、卵が産み付けられたりしていいる場合も。

飲食店の床にカバンや荷物をそ

のまま置くクセがある人は要注意。

たたでさえ飲食店はゴキブリが好

む場所でもありますから、カバンにゴキブリが入り込んだまま持ち

帰ってしまう可能性もあります

池田町には、こんなユニークな

対策をとっている住民も。

「ゴキブリはかんきつ系の匂いが

苦手だと町内で聞いて以来、ふた

人はオレンジのアロマをたいてい

ます。また子どもが小さく、ホウ

酸だんごを誤って食べてしまわな

いか心配だったのですが、アロマ

でもしっかりとゴキブリ対策がで

きます」(30代の女性)

「秋口を過ぎるとゴキブリの繁殖

シーズンがはじまります。いまの

うちから、ゴキブリを寄せ付けな

いように心がけておきましょう」

(焼江さん)

「鉄壁の家づくり。で、黒いアイ

フとはもうオサラバ!

かんきつ系のアロマにも

、G対策効果がある!

岐阜県・池田町

を封鎖せよ!



「ゴキブリキャップ」(写真下)を製造する「タニサケ」本社前には、ゴキブリせん滅を実現したからこそその「鉄壁」が

日本に「ゴキブリ0」の町があるという。それが、岐阜県の南西部に位置する池田町だ。池田町役場産業課の吉田浩基さんが語る。「池田町はさかのぼること30年前、年間5万円の助成金を住民に支給し、町をあげて『駆除作戦』に取り組みました。

自宅で5千匹のゴキブリを倒すし、地元で「ゴキブリ博士」と呼ばれた谷酒茂雄さんが、ゴキブリ

みんなの嫌われるもの、ゴキブリ。その驚異的な生命力で、今日も家のなかでカサカサ……。アイテムを自宅から運ざける最強メソッドは、「ホウ酸だんご」発祥の地にあった!

キーフィンに、居間に、はまたある飲食店の隣っこをすばしつぶ走る黒光りの体……。ゴキブリの気持ち悪さは、まさに人類の敵。ところがついでどう。

ここにでも現れるゴキブリだが、日本に「ゴキブリ0」の町がある。という。それが、岐阜県の南西部に位置する池田町だ。池田町役場

(144)

秋光りの体……。ゴキブリの気持ち悪さは、まさに人類の敵。ところがついでどう。

に現水蒸状引き起こす毒エサを駆除しただけでは安心できないのがゴキブリの恐ろしさだ。

「ホウ酸だんご」を発明。老人会や婦人会の人たちが輸出でホウ酸だんごを作つて、各家庭に販賣したのです。

それが功を奏し、池田町の子どもはゴキブリを知らない。とまで言われるようになりました。

そのホウ酸だんごは、その後「ゴキブリキャップ」という名で商品化され、今では池田町の大好きな特産品のひとつに。

「小さいころからおばあちゃんがホウ酸だんごを作つては、玄関や窓に置いていました。」1匹たどりともウチに入れないと、という精神で、いまでも町の人たちが実践していますよ。(町内在住の主婦)

「ゴキブリキャップ」を製造する「タニサケ」(本社は池田町)でゴキブリの生態を研究している焼江正和さんは、「ゴキブリ0」を目指す心得についてこう語る。

「まずは家のなかにいるゴキブリを駆除することが最優先。冷蔵庫の裏や家具の隙間、押入れに入れっぱなしにしている段ボール箱や古紙の束は、ゴキブリが巣を作るのに格好の跡です。

段ボール箱は早いうちに処理し、その周辺に毒エサタイプの駆除剤を撒いておきましょう。」(焼江さん)

玄関ドアの新聞受けもゴキブリからすれば「侵入口」。チラシが挟まつたままにせず、常に閉じておくように。(焼江さん)

エアコンの排水ホースは防虫キャップでふさぐか、できれば地面からすれば「侵入口」。チラシが外に出先からゴキブリを家に持ち込んではしませうケースだ。

「スーパーで大量の買い物をしたとき、商品をまとめて段ボール箱に入れる人もいますが、その隙間

もひとつ気をつけたいのは、うちから、ゴキブリを寄せ付けないように心がけておきましょう」(焼江さん)

(145)